



金ヶ崎町立金ヶ崎中学校
令和元年度校報
第22号
令和元年9月5日発行
文責：遠藤

私たちはあの日、 あの時を忘れない

2年生は例年、総合的な学習の時間で東日本大震災大津波から学ぶ「復興教育」の一環として講師を招いて**復興教育講話**を聴く機会を設けています。今年度は、8月21日（水）に**中部教育事務所指導主事齋藤**先生を



講師として来校頂きました。齋藤先生は東日本大震災時、釜石東中学校に勤めており大津波を経験しました。その後、金ヶ崎町教育委員会指導主事として勤務し、町内でもその時の経験

をもとに講演してきました。今回は次の週の学習遠足で陸前高田市の訪問前の事前学習を兼ねて「**私たちはあの日、あの時を忘れない**」と題して講話いただきました。齋藤先生の話をもとに2年生の生徒諸君が真剣なまなざしで聞き入る姿がとても印象深く残る学習の場となりました。

次に講話後の2年生諸君の感想を紹介します。

○私はあの日、5歳でまだとても小さかったです。でも、あの時起こった出来事は今でも覚えています。だけど、高田や釜石よりは比べものにならないくらいひどくはありませんでした。震災後、家族で高田に行きました。そこで見た光景は信じられないほどの景色で、その場にいた人たちは皆涙を流していました。今だから分かります。あの日、3月11日に起こった東日本大震災は日本中に大きな影響を及ぼし、多くの人が悲しみに包まれたことを。今回、震災当時のお話を聞いて、ポテトチップスの話が一番心に残っています。野球部の少年の言葉はきっと私

には口にできません。あの時、少年はもちろん男子生徒はどのような気持ちでいたのでしょうか。一枚のポテトチップスはどんな味がしたのでしょうか。考えるだけで涙が出てきます。私も同じ中学生ですが、とてもこの人たちを心の底から尊敬します。世界中には大変な暮らしをしている人がたくさんいます。私は本当に幸せなんだと思います。今回のお話を聞いて、震災は私が思っていた以上に辛く悲しいことだったんだと思います。これからは私にできることがあるのなら、少しでも役に立ちたいと思います。



○今日の講話を聴いて、僕はどれだけ東日本大震災が大変なものだったか知ることができました。僕は内陸に住んでいたのに、地震と停電で済んだけど、沿岸に住んでいる人は津波の被害も受け、大切なものを失っていると考えたらすごく胸が痛くなりました。その中でも、僕の印象に残っているのは、ポテトチップスを15人で分けていたということです。自分たちで食べたくても、小さな子どもや高齢者を優先にしたということを知り、中学生なのによくそこまで気を使えるなと思いました。今度の学習遠足では、被災地でたくさんのことを学びたいです。

○私は今回「東日本大震災」の事について話を聞いて実際に被害にあった人たちがどれだけ怖い思いをしたのだろうと考えるだけで、心が苦しくなりました。震災が起こる前は皆いつもと同じように暮らしていたのに、あの災害が起きて一瞬で何もかも全て失って、いつもそばに

いた家族がいなくなって、皆の笑顔が消えてしまうということを知って、すごく辛かったです。釜石東中学校の生徒は本当はすごく怖くて泣きたい気持ちだったけど、それでも小学生と一緒に安心できる所まで最後まで連れてったと聞いた時、本当にすごいなと感じました。今回の東日本大震災を経験された方からお話を聞いて、どんな思いで命の大切さを語ってくれたか伝わるものでした。今度の学習遠足ということで震災が起こった現地に行くので、今日のお話を思い出しながら、しっかり学習していきたいです。

復興学習遠足

8月27日（火）に、先の「復興教育講話」を受けて「復興教育学習遠足」を実施しました。訪れたのは今なお復興工事等が続いている陸前高田市でした。

＜以下、2学年通信「坂道の向こう」より抜粋＞

陸前高田では、旧気仙中学校や「奇跡の一本松」、嵩上げ地に残る震災遺構の建造物、巨大防潮堤に囲まれた高台に上がらないと海が見えない新市街地、8年目にしてやっと田植えができた田んぼ、高田松原再生計画など沿岸地域の状況を目の当たりにし、語り部ガイドの方々のお話を聞きました。犠牲の重さ、地域の復興に向けた取り組みの積み重ねやその難しさ、人と人との絆の大切さなど沢山の事柄を学ぶことができました。



【学習遠足感想】私達は震災について学ぶため、陸前高田へ行き、様々な話を聞いてきた。語り部の方の話は生々しく、当時の状況や人々の様子を知ることができた。「奇跡の一本松」を実際に見たときは・・・被災した方々にも生きる希望を与えた物だったのではないかなと思った。避難体験では、その時の必死な気持ちや不安を考えながら行けた。実際に波が来ていたらどんなに怖いのだろうと思った。・・・この震災を忘れずに次に語り継ぐことが大切だと思う。・・・

心に残るそして多くのことを感じ、学んだ貴重な時間となったようです。この東日本大震災大津波は遠くで起きたことではありません。いついかなる災害が襲いかかるか知れません・・・あの日あの時の経験を学びそして語り継ぎ、我々ができることを常日頃より備え考え続けていくことが大切なのです。

地区英語暗唱大会 県中学校英語弁論大会

8月23日（金）に奥州市小山地区センターにて、地区英語暗唱大会が行われました。本校からは次の諸君が参加し、練習の成果を堂々と披露してくれました。

○1年 **高橋** さん
準優勝

“The Restaurant
with Many Orders”



○2年 **小石川** さん
“Alice and Humpty”

○3年 **荒川** さん
奨励賞

“Faithful Elephants”

また、9月4日（水）にはサンセール盛岡を会場に第69回県中学校英語弁論大会が開催され、3年**高橋**さんが出場し、

“Educacion First:Malala’s Story”を堂々と発表してきました。今後もさらなる努力を期待します！

